

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 27 日

評価対象事業			評価者	発達支援室長		田中 香織
こども-29 障害者施設管理運営事業			■ 自治事務	主管課	発達支援室	
			□ 法定受託事務	関連課	障害者福祉課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス		

1 事業の目的

対象	障害児等
意図	障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。
効果	障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数	3,269人	3,247人	事業の対象者数	3,269人	
	決算値(千円)	493	391	当初予算(千円)	524	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他	493	391	その他	524	
	一般財源	0	0	一般財源	0	
事業経費運営	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	0.1	・事業の対象者数は、年間延べ利用者数 ・年間開所日数 (H27年度311日、 H26年度307日)
	人件費(千円)	744	767	人件費(千円)	769	
	総事業費(千円)	1,237	1,158	総事業費(千円)	1,293	
	市民1人当りの経費(円)	7	7	市民1人当りの経費(円)	7	
	対象者1人当りの経費(円)	378	357	対象者1人当りの経費(円)	396	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	今後とも市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー (社福) ほしづきの里
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		⇒ 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算については障害児活動支援センターの光熱水費であり、事業者の負担としているため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業者が障害児活動支援センターの施設管理を包括的に行っていくこと、及び施設使用料(光熱水費)を継続して事業者の負担とする。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	特になし	
課題解決のために行った平成27年度の実績	特になし	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	特になし	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	年間利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	・年間利用者数 H27年度・3,247人、 H26年度・3,269人、 H25年度・3,104人、 H24年度・2,392人 (法内事業化されていない)
年間利用者数が平成25年度3,104人、平成26年度3,269人及び平成27年度3,247人であり、3年間の平均が3,207人であったためこの値とした。	目標値		3,269	3,207				
	実績値	3,269	3,247					
	達成率		99.3%					

指標の内容		単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標の内容		単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	年間利用者数が平成25年度3,104人、平成26年度3,269人及び平成27年度3,247人であり、3年間の平均が3,207人であったためこの値(3,207人)を目標値とする。 なお、平成27年度の指標(目標値)については平成24年度の年間利用者数が法内事業化されていない(放課後等デイサービス)数値(2,392人)であったため、3年間の平均ではなく、平成26年度の利用者(3,269人)が上限と考えられたため、この数値(3,269人)に設定した。						
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---